

元気 パワー  
**\* GP 農法だより \***  
 無農薬自然農法 元気パワー農法

発行 GP農法研究会 NO15

代表 佐藤 陸

〒344-0041 埼玉県春日部市増富 243-53

TEL 090-4672-1285 FAX 048-763-5362

## 《長野県佐久市で「GP農法講演会」開催》

60人程が聴講されました

2月25日農民連佐久支部主催の「GP農法講演会」が佐久市公民館で開催されました。

講演会には、農民連佐久支部の方たちや、近隣市町の農家の皆さん、小諸市からの方など、女性の方10名程を含めて、60人程の参加者がありました。この開催について、地元の新聞社3社の新聞にも掲載されました。講師はGP農法推進プロジェクトのリーダーと、GP農法研究会代表（元秋田県農業改良普及員）の2名。



### 【できた野菜の比較】

GP農法で土づくりをしっかりとした畑で作った、埼玉県産の人参・大根・じゃがいもと、佐久のスーパーから購入したものと、大きさ、肌の状態などを比較しました。GPの大根は、通常なら「す」がはいりやすい大きさでも、しっかりと育ち、外側の肌も艶の良いものでした。

休憩時間には、人参やトマトを試食して味の違いも実感して頂きました。

### 【土のパワーの比較】

参加者が自分の畑から採取して持ってきた土と、GPのパワーのある土との比較をしました。土を持って来られた方全員テストにご協力頂きましたが、自分の体で、著しい違いを体験されてとても驚かれていた様子です。被験者が自分の体で感じて、また被験者の動きを自分の目で見てすぐには理解できず、参加者の方同士で実際にテストをされてる様子も見受けました。

### 【簡易微生物（酵素）テスト】

梨畑にGP資材を埋設した人の土を調べてビックリしました。2週間も酵素のにごりが続いていたのです。（殆どどの畑ではよくても3~5日位で澄んでしまいます。場所によっては半日で水そのものになるところもあります。）農薬や化成肥料中心の耕作を長期間続けていると、微生物が弱くなり、酵素の出は悪くなってしまいます。この傾向は世界的大問題です。

講演が終了後の懇親会では、たくさんの質問が出されました。また翌日には、ぼかし作りや雑草エキス、酵素水の作り方を教えて欲しいなどの、お問い合わせをたくさん頂きました。栽培地を視察したいとの要望もあり、3月2日、9日には埼玉県の鳩山町で現地視察もありました。

## 《GPイチゴ 出荷！！》

現在、埼玉県春日部市のいちご農家では、GPいちごの収穫に追われています。こだわりのいちごを作り、1パック（12~15粒）送料込で2,000円、2パックのセットの場合、送料込で3,200円で出荷しています。生産が追い付かず、注文者は、数日発送待ちの状態です。



埼玉県春日部市

### 《雑草エキスの葉面散布のタイミング》

雑草エキスは、漢方「中薬」に値するエネルギーを持ち、土作り、農作物の育成に効果があります。

15種類以上の生の状態の草を使って作ります。通常、草はやっかいな物とされていますが、GP農法では、草の持つ強い生命力を一週間で発酵させ、「酵素」として取り出しました。

作物の生育過程に、**ストレスがかかった時**に噴霧や散布をすると、そのストレスを「解除」する効果があります。作物のストレスとは、気温の急劇な変化や、雨・風に当たった場合などのことです。花卉の成長に異常が見られます。花卉が奇形になり、実も奇形になってしまいます。その結果、「キズ物」の扱いで出荷販売できなくなります。

こうした状況を「予防」・「解除」するのにも、雑草エキスの効果が報告されています。お問い合わせも多く頂いているので、葉面散布の時期を列記します。

- 1、種蒔きの直前。(種に直接散布。種籾は雑草エキスの300倍液に浸ける。)
- 2、成り物の場合には、苗の定植の際。(苗箱の段階で500倍液) 散布・噴霧。
- 3、芽かきの時。(終了直後 500倍液噴霧)
- 4、ハウスでは、開閉の遅れや早すぎで、高温あるいは低温になったり、風のため傷を付けてしまった時。(500~1000倍液噴霧)
- 5、瓜類などの枝切りやナスなどのなり枝カット時。(500~1000倍液噴霧)
- 6、水のかけ過ぎ、長雨、干ばつ等は、ストレスが溜まっている時。(500~1000倍液噴霧)
- 7、特に問題がなくても1カ月に1回は、1000倍液噴霧。

4、5、6、7、は、いずれも葉面散布が良いです。面倒なようでも、雑草エキスをていねいに活用する事は、トラブルを防ぐための技術の1つです。

### 《お願いとご注意》

GP農法では、土壤微生物を活性化させるために、「セラミック」を使用しています。GP農法推進プロジェクトでは、特殊技術によってセラミックに2つの異なるパワーを導入しています。酸素を嫌う嫌気性・酸素を好む好気性のタイプに分かれていて、2つをセットにして土に埋設することで効果が発揮されます。

2か所に分けて埋設しないようお願いします。

また、「セラミック」という言葉は、単に【陶磁器、窯業製品】を表す言葉です。市販されている他のセラミックについて、GP農法のセラミックと同じパワーや効果があるわけではありません。

「酵素水」も同様なことが言えます。GP農法では、「元気水」として特殊技術により、それぞれの使用目的に応じてパワーやバランスを変えてあります。

GP農法に取り組む際に、他の類似品では代用ができませんので、何卒ご注意くださいようお願い致します。

また、GP農法は、土壤微生物を活性化させることが1番の理念ですから、微生物を殺してしまう通常の農薬・化学肥料等を一緒に混合使用してしまうと、効果ができません。土地が健全な状態ではなくなってしまう、土地がもつ波動を変えてしまうからです。

効果がでない土地を確認をすると、土壤消毒のために、農薬や石灰を蒔いたとかいう事が聞かれました。

GP農法は、新技術ですから、いろいろなご質問が出てくるかと思えます。その際はどうぞ、GP農法研究会、またはGP農法推進プロジェクトまでご連絡ください。

GP農法研究会	佐藤 陸
	TEL 090-4672-1285
GP農法推進プロジェクト	TEL 03-6276-7958